



## 家畜衛生情報

# BVD-MDって何？

26-35

H27.3.12

BVD-MDとは牛ウイルス性下痢・粘膜病の略称です。  
中濃家畜保健衛生所は今年、BVD-MD対策に力を入れていきます。

### 【BVD-MDとは…】

牛ウイルス性下痢・粘膜病 (Bovine Viral Diarrhea Mucosal Disease) は BVDウイルスの感染で、下痢や肺炎を起こします。

妊娠中に感染すると胎盤感染を起こし、異常産や持続感染牛 (PI牛) を産みます。

全国的に発生頭数は増加傾向にあり、ウイルスの血清型は1型から2型へ移行しつつあります。

### 【怖いのはP I 牛】 (persistent infection)

胎齢2～4ヶ月の胎仔が感染すると、BVDウイルスに免疫を持たない牛になります。  
(PI牛の誕生)

PI牛は一見正常…だが生きている間、糞尿や鼻汁からBVDウイルスを大量にばらまきます。  
(農場の汚染源)

### 【農場にP I 牛がいると…】

周りの牛をBVD-MDに感染させ、乳量が低下したり、A I 回数が増加したり、異常産も増えます。 → 治療費も増加!!

### 【どうすればいい？】

PI牛の摘発・淘汰とワクチン接種で清浄化は可能です。  
詳しくは裏面へ！





## 家畜衛生情報

# BVD-MDって何? つづき

26-35

H27.3.12

### BVD-MDから農場を守る方策

#### 【P I 牛の摘発淘汰】

遺伝子検査で発見できます。

酪農家では、バルク乳やヨーネ病検査等の余剰血清で  
肉用牛では、牛白血病検査等の余剰血清で

牛群単位の検査で陽性であれば、疑わしい個体の特定にまで検査を継続  
します。

#### 【ワクチン接種】

- ・子牛には 牛6種混合生ワクチン (1型と2型を含む)  
(妊娠していない牛) (今までの5種混は1型のみ)
- ・親牛には 6種(または5種)混合不活化ワクチン  
(不活化した1型・2型を含む、妊娠牛にも大丈夫!)

大切なのは、P I 牛の摘発淘汰とワクチン接種を両方実施すること!!

私たちは今年、BVD-MD対策に力を入れていきます!

牛に異常が見られたら、  
すぐに家畜保健衛生所へご連絡ください!!

